

シンポジウム

水技術の展開と都市環境

21世紀は世界的に水が貴重な存在となり、その水を管理する技術がますます重要となってきています。名古屋・堀川の水質改善活動を展開する中で、水に関する技術がこれからの世界に必要とされていると実感しました。また、そこから水と人々の暮らし、都市環境との関係が見えてきました。そんな水と都市を取り巻く話題をこのシンポジウムで皆さんと一緒に考えたいと思います。

日時 平成24年9月29日(土) 13:30~16:00

会場 名古屋工業大学 講堂会議室

題目 水技術の展開と都市環境

パネリスト (以下敬称略、順不同)

中部建設協会理事

福田晴耕 (アジアの水害と水問題)

藤井基礎設計事務所代表取締役社長

藤井三千勇 (松江堀川遊覧による効果)

日本下水道事業団技術戦略部長

野村充伸 (最新の下水処理技術)

中国・深セン大学教授

劉 建 (低影響開発技術による都市水環境改善)

コーディネーター

名古屋工業大学大学院教授

富永晃宏 (名古屋堀川の再生活動)

主催 名古屋工業大学、日比科学技術振興財団

定員 150名

申込方法 E-mail または FAX にて所属・氏名・電話番号をご連絡ください。

E-mail kasenken.meiko@gmail.com

FAX 052-735-5490

E-mail または FAX の題目を「9月29日シンポジウム申込」としてください。

申込完了メールや参加票は発行しておりません。

お知らせいただいた情報はシンポジウムに関する連絡以外には使用しません。

申込締切 平成24年9月21日

シンポジウム 水技術の展開と都市環境

水ビジネスという言葉が広まりつつありますが、雨水を管理する技術、下水処理技術から河川環境および水循環の再生技術など様々な技術があります。都市と水に目を向けると、水は都市に潤いを与えるものですが、また水害ももたらすものです。ここでは、国内だけでなくアジア地域における都市の水に関する様々な問題点とこれを解決する技術の展開について紹介するとともに、水技術を通じての都市環境改善とまちづくり、国際社会への貢献の可能性について、各方面からパネリストをお招きし議論します。

パネリスト



ふくだ せいこう
福田晴耕
(社) 中部建設協会 理事長

北海道大学工学部土木工学科卒。
建設省入省。
国土交通省 国土技術政策総合研究所 環境研究部長を退任。

この間、本省河川局、東北・北陸・中部・近畿・沖縄の各地域で河川行政に従事。
また、外務省経済協力局、海外経済協力基金（OECD、現JICA）開発部に出向。



のむら みつひさ
野村充伸
地方共同法人 日本下水道事業団 技術戦略部長

1979年、名古屋工業大学土木工学科卒業、同年、日本下水道事業団入社。事業団の設計部門を振り出しに、施工管理部門、企画部門を担当。この間、1986年建設省近畿地方建設局大和川工事事務所河川環境課長、1991年米環境保護庁リスク削減工学研究所客員研究員、1995年インドネシア共和国公共事業省派遣国際協力事業団長期専門家（下水・排水政策担当）を歴任。2011年4月に日本下水道事業団西日本本部副本部長・近畿・中国総合事務所長より、技術戦略部長に就任。下水処理の技術開発から実用化、プロジェクト導入まで事業団のエンジニアリングを統括している。

技術士（建設部門、上下水道部門、総合技術監理部門）



ふじい みちお
藤井三千勇
株式会社藤井基礎設計事務所代表取締役
株式会社フジイ・リサーチ代表取締役
有限会社シンク・フジイ代表取締役
株式会社フジイ・ケミカルズ代表取締役
一般社団法人全園地質調査業協会連合会前理事・地織活性化委員長
中園地質調査業協会前理事長、中園地質調査業協会島根県支部支部長、協同組合島根県土質技術研究センター理事長

名古屋工業大学土木工学科卒、島根県土木部道路課、株式会社八雲建設コンサルタントを経て、昭和49年より現職。土質及び基礎を中心とする調査設計をメインとし、隠岐島緑のコンビナート推進協議会副会長、隠岐ジオパーク推進協議会アドバイザー、プロバスケットボールbjリーグの島根スサノオマジックを立ち上げ、現在、株式会社山陰スポーツネットワークの取締役など地域社会の振興に貢献している。



リュウ ジェン
劉建
深圳大学建設生態技術研究所所長
深圳大学土木工程学院建設管理及び不動産専攻 教授

武漢水利電力大学（現武漢大学）水力プロジェクト施工管理専攻卒（1985年）、同大学院修士課程水工構造専攻修了（1991年）、名古屋工業大学大学院博士課程社会開発専攻修了（1996年）中国水利電力部科学技術情報研究所アシスタントエンジニア、中国水利部エンジニア、(株)ニュージェック技師、深圳大学助教授を経て、現職。専門は水文学、水理学、環境流体力学、プロジェクトマネジメント、技術経営（MOT）。中国電機工程学会風力及び潮汐発電委員会の委員を務める。雨水利用、都市洪水氾濫や都市環境再生に関わる研究を行っている。

コーディネーター



とみなが あきひろ
富永晃宏
名古屋工業大学大学院工学研究科社会工学専攻教授

京都大学大学院工学研究科修士課程土木工学専攻修了。
京都大学助手、群馬大学助手、名古屋工業大学助教授を経て現職。
専門は水理学、河川工学。土木学会水工学委員会・基礎水理部会長の他、国土交通省中部地方整備局三重河川流域委員会、愛知県西三河地域水循環再生地域協議会座長、愛知県治水計画検討会、名古屋市環境影響評価審査会等の委員を務める。河道の水理現象や河川の自然再生に関心があるが、都市河川・堀川の水質改善に関わる調査を行っている。